11月

定例議会質問

風間重樹

Q：病院などの施設は津波浸水想定区域内へ誘導すべきではないと考えるがいかがか？

A：津波浸水想定区域内への病院などの施設の誘導については、まず、病院や高齢者施設などの福祉施設は、津波浸水想定区域内に建設できないとする法令等の規制はない。その上で、桜ヶ丘病院が移転する場所については、「しみず都心のまちづくり」の考えと、病院の移転に関するJCHO（運営母体）の考え方が合致したものであり、早期に移転できることからも適切な場所であると考えている。

※南海トラフで30年以内にマグニチュード８以上の巨大地震が発生する確率は70%(内閣府)。しかし、答弁にはまったく緊張感が感じられず残念でした。

池邨善満

＜東海道二峠六宿を活かした観光交流について＞
Q：市は街道観光について、どのような方針で推進していくのか。

A：本市の街道観光推進の方針は、蒲原から丸子、宇津ノ谷峠まで続く、東海道二峠六宿における、ヒトやモノの流通が、生み育んだ地域資源の掘り起しと磨き上げのため、「意識醸成と体制づくり」、「観光環境・受入基盤整備」、「観光プログラムの創出」、「戦略的な情報発信」の４分野において、施策を進めることである。

また、宿場であることを活用し、地域間のつながりを深めるような取り組み等については、講師の派遣や、会場の貸し出しなど、積極的に支援していく。

佐藤成子

Q：昭和36年に都市計画道路決定されている下大谷線の現状及び今後の事業展開はどうなっているのか？

A：下大谷線は、総延長約11㎞の広域交流ネットワークを担う都市計画道路であり、本市の南北軸を構成する重要な道路である。

現在、（仮称）静岡東スマートＩＣのアクセス道路として、大谷郵便局から広野大谷線までの約900m区間において、平成30年中を目ざし4車線化工事を行っている。また、ＳＢＳ通りまでの1.5㎞は、道路幅を25mに変更する都市計画変更手続きを進めている。全線早期供用開始を目ざし、事業推進を図っていく。

TOPICS

駿河区に地域福祉のための活動拠点が整備されます！

志政会では以前から、駿河区への地域福祉活動拠点の整備を要望してきましたが、今回、健康長寿まちづくりのモデル地区である駿河区役所周辺地区の南部図書館２階（旧視聴覚センター跡）に、公の施設として、地域福祉及び共生の拠点が設置されることとなりました。この施設では、地域福祉推進を目的とした市民講座等が企画運営されるほか、ボランティア活動に関する情報提供や、大学などと連携したイベント等が開催される予定です。

施設は、平成30年6月1日の利用開始を目ざしています。

施設が入る予定の南部図書館

■静岡市議会■志政会■広報誌■

志政会 しせいかい だより

平成29年12月発行
第９号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
（内4505）
FAX 054-653-3412

平成30年度当初予算へ政策提言

志政会は10月30日、市長へ「平成30年度当初予算に盛り込むべき」政策提言を提出しました。

静岡市は、「第３次総合計画」に基づき人口減少対策として「総合戦略」を推進していますが、引き続き厳しい財政状況、桜ヶ丘病院建設・清水庁舎の移転問題、ＬＮＧ発電所への意見表明など、課題が山積しています。本市の自治体経営を継続的に改善するためには、今一度、経営マネジメントシステムを見直し、改善を図ることが必要です。

志政会では、本市の将来を見据え、市民の安心・安全確保に向け、各種団体との意見交換会及び行政施策先進市町の視察を行い、施策の調査研究の結果、これからの本市の進む方向性、市民ニーズに応えるべく政策提言をとりまとめました。（以下、提言抜粋。詳細は会派ホームページに掲載しています）

Ⅰ　自治体経営の基盤強化

１．財政基盤強化

（１）自治体経営体質強化に向けた成果指標の設定と検討しやすい環境整備

「目標がどれだけ達成できているのか」を評価できる成果指標を定めるために、検討委員会を設けること。

（２）アセットマネジメントの効果的な運用

それぞれの局が策定した施設等のデータベースを基本に、市民サービスの維持管理の視点からアセットマネジメントを行う仕組みを構築すること。

２．重点事業計画等の策定

（１）（仮称）「清水都心まちづくり推進計画」の早期策定

港町・清水の「海洋文化拠点の創出」の推進に向けて、清水駅から日の出まで、静岡市はどのように整備していきたいのかを明確に示すべきである。

（２）しぞ～かふるさと応援寄付金事業計画

本事業の今後の在り方及び推進部門の見直しを検討すること。

Ⅱ　安心・安全

１．防災・消防

（１）感震ブレーカー補助対象の拡大による地震発生時の火災防止策の強化

感震ブレーカーの補助対象を木造住宅だけでなく、対象範囲を拡大すること。

（２）消防団の補完制度として機能別団員・分団の導入

多くの方が消防団に参加しやすいよう、現在の消防団の補完制度として、「機能別消防団」制度を検討すること。

２．健康福祉

（１）清水区の医療体制の確立及び桜ヶ丘病院への対応

・桜ヶ丘病院の規模を把握し、清水病院への影響について調査すること

・大規模地震が発生した際、新病院の機能維持についてＪＣＨＯ側の計画を市民に示すよう要請すること　等

３．生活・環境

（１）空き家等の管理・活用推進

空き家等の管理と利活用を盛込んだ計画を策定すること。

Ⅲ　賑わい・活気

1．交流・観光

（1）応援団フェスティバル事業の位置づけ検討

応援団フェスティバルは他に類をみない、高校生の応援団に焦点をあてた事業であり、本事業を展開することで注目度が上がり、人口や誘客の増加が期待できる。よって、本事業を静岡市の事業として推進すること。

（2）東静岡駅アート＆スポーツ／ヒロバの運営方法の見直しと利活用

運用にあたっては本市の推進担当部門の見直しと実行委員会と市の関係する部門が連携する仕組みを早急に構築すること。

2．商工・物流／産業経済

（1）中小企業振興基本条例の制定

市は、中小企業・小規模企業振興を重要施策として位置づけ、中小企業・小規模企業の振興を総合的に推進するため、中小企業振興基本条例を制定すること。

（2）中小企業インターシップ受け入れ拡充に向けた支援

経営資源が整わない中小企業のインターンシップの受入れ拡充に向けた支援を行うこと。

3．農林水産

（1）定置網漁港と「河岸の市」との連携検討

定置網で捕れた新鮮な魚を楽しむことができる仕掛けや未利用魚の利活用策を検討できる体制整備ができるように、由比定置網漁業者と河岸の市との連携強化を図ること。

Ⅳ　ひ　と

1．子ども・教育

（1）小中学校職員制度の充実

人事委員会勧告の指摘を受け、静岡市教職員も静岡市行政職員と同等の支給割合を適用すること。

（2）静岡市型完全３５人以下学級の実現

小学校３年生から中学３年生まで下限措置なしの完全３５人以下学級を実現し、その際に学級数増に応じた教員加配を行うこと。

（3）「施設一体型小中一貫校」設置の推進

Ⅴ　ま　ち

1．社会資本利活用

（1）清水駅周辺民間企業との連携強化

液化天然ガス（ＬＮＧ）火力発電所建設に対し、市長は「都市のまちづくりについて相応しくない」と表明されたが、今後の清水のまちづくりに影響が懸念される。清水駅・港周辺のグランドデザインを早急に示し、清水駅周辺民間企業と共に活性化に向けた話し合いをする場を作り、継続して協議を行うこと。

2．都市・交通

（1）交通弱者、買い物弱者対策の推進

自治会、ＮＰＯ法人等が自ら取り組み実施しようとする福祉有償運送に対し、市は一緒になって事業推進を支援すること。

会派研修会

たった４年で商店街を再生！ 日南市「油津（あぶらつ）商店街」の取組みとは

株式会社油津応援団代表取締役　黒田 泰裕 氏

講演する黒田社長

11月24日、宮崎県日南市の商店街活性化に取組んできた「油津応援団」の黒田泰裕社長を講師にお招きし、志政会主催の研修会を開催した。黒田社長は空店舗率 26％だった油津商店街の活性化に乗り出し、4 年間で 29 の店舗や会社（現在、ＩＴ企業 10 社）を誘致。今では客層が若返り、週末は活気であふれている。

黒田社長は、持続可能な商店街づくりに必要なこととして、①まちの応援団を集める ②市民を巻き込む ③まちをプロデュースする人材の育成　の３つを挙げた。さらに前日、市議と共に視察した清水区の商店街の活性化策にも触れ、「食べ歩きなど、まちを巡る仕組みが有効である」と指摘。

また黒田社長は、「商店街は再生させるのではなく、新しいものに作り替えなくてはいけない」「商店街が市民にどれだけ貢献しているのかが問われている」と訴えた。

議員・市職員等、約 80 名が参加した

11月補正

一般会計補正予算４億８，９１３万円を追加

銀座アンテナショップ開設準備金や台風 21 号 22 号の災害復旧などに

■アンテナショップ開設準備事業　…　８，２５０万円

静岡市は、「しずおか中部連携中枢都市圏事業」の一環として、焼津市や藤枝市など 5 市 2 町の特産品を販売するアンテナショップを東京・銀座に開設する。年度内にも契約が成立する見込みで、物件賃借料や保証金として 8,250 万円を計上。平成 30 年夏ごろのオープンを目ざしている。

アンテナショップの様子（長野県アンテナショップ）

三保松原保全活動の様子

■三保モデル創造事業　…　５３５万円

世界文化遺産・富士山の構成資産である三保松原の保全を進めるため、全国で松原保全に取り組む市民や専門家のネットワークを構築し、情報共有を図っていく。具体的には、来年 2 月に 300 人規模のフォーラムを開催。各地で松原の保全活動に取り組む団体に参加してもらい、研究成果や活動を共有する。また、各地の松原の保全活動のノウハウを集約した総合情報サイトの構築にも着手する。

「（仮称）松原フォーラム（白砂青松再生の会 in 三保松原）」

開 催 日 ： 平成 30 年 2 月 23 日（金）24 日（土）
会　　場 ： 清水テルサ　基調講演・保全活動・研究成果発表
参加人数 ： 300 人（予定）

■台風 21 号 22 号による災害復旧事業　…　３億６，７００万

10 月 23 日の台風 21 号、29 日の 22 号に伴う静岡市全体の公共施設の被害総額は 7 億 1,640 万円と推計されている。そのうち、当初予算で想定した復旧費等で対応できない分を補正予算として計上する。

①三保真崎グランドゴルフ場の復旧工事　…　６３０万円

土砂撤去及び芝地復旧、フェンス設置修繕、松林土砂流出復旧修繕　等

② 漁港施設の復旧工事　…　８，０７０万円

- 由比漁港の舗装復旧、土砂撤去
- 西倉沢漁港の土砂撤去、排水路浚渫等
- 用宗漁港の護岸修繕、釣り護岸修繕
- フィッシャリーナ浮桟橋修繕　等

③ 道路・法面の復旧工事　…　２億８，０００万円

- 大原水見色線の路肩、法面復旧
- （主）井川湖御幸町線の路肩復旧
- （一）三ツ峰落合線の路肩復旧

三保真崎グランドゴルフ場被害状況

由比漁港の被害状況

用宗漁港の被害状況

大原水見色線の被害状況